

平和の大切さを

伝えるために

□広島へ平和使節団を派遣

市は昭和63年3月、非核平和都市を宣言し、平和の尊さ、核戦争の悲惨さを後世に伝えることを目的として、さまざまな事業を行ってまいりました。昨年は、市内公立中学校からの代表8人を含む、総勢13人の使節団を派遣しました。今年も、同人数の使節団を派遣します。

【派遣スケジュール】

7月30日(金) 結団式および事前学習会
8月5日(木)～7日(土)

- ・ 平和記念式典の参加
- ・ 平和記念資料館などの見学
- ・ 太田川の灯籠流しに参加

9月4日(土) 人権と平和のつどい報告会

～ 昨年の参加者の声 ～

使節団に参加した中学生は、「被爆者の傷をいやすには、戦争経験のない私たちが行動を起こす必要があると考えます。まず原爆について知り『平和な世界をつくる』という強い気持ちを持つことが大切だと思います」と語ってくれました。

被爆64年の平和記念式典では、慰霊碑に花束を供える人々の姿や、代表者の誓いの言葉が生徒の心に残ったようで、平和への思いをより強いものにしていました。

□千羽鶴の作成

今年も、市民の皆さんが折った千羽鶴を平和使節団が代表して「原爆の子の像」へ捧げます。



市民課窓口前で、千羽鶴用の折り紙を用意していますので、待ち時間などを利用して、ひと折りのご協力をお願いします。

□原爆パネル展の開催

被災写真および絵画を展示します。

とき／9月4日(土)
ところ／市民会館小ホールロビー



問 総務課 ☎ 826・1111 内線2212

昨年の平和使節団



原爆死没者慰霊と平和祈念の黙とう(1分間)にご協力をお願いします。

- ・ 広島 8月6日(金) 午前8時15分
- ・ 長崎 8月9日(月) 午前11時2分

原爆ドーム(平成8年・世界文化遺産に指定)

1945年8月6日 午前8時15分に原爆により被爆を受けた元「広島県産業奨励館」は、誰が言うともなく「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。原爆によって半径2kmにおよぶ市街地が廃墟と化し、この悲惨な事実を後世に伝え人類の戒めとするため、建物の残部に補強工事を施し、これを永久に保存することにしました。その工事費は国の内外にわたり、平和を願う多数の方々から寄せられたものです。